



声のラン

声

今年も、キノコ狩りが盛んになる時期を迎えました。

私は、友人と毎年、キノコ狩りに出かけるのですが、ヒグマに遭遇しないか心配です。ヒグマによる人身事故を防ぐためにも、ヒグマと遭遇しないための注意点や、遭遇してしまったときの対応について教えてください。

答

ヒグマは、日本に生息する最も大きい陸上動物です。国内では、北海道のみに生息しています。

野山に入るときには、常にヒグマと遭遇することを想定して行動する必要があります。

【ヒグマと遭遇しないために】

①単独行動をせず、「ヒグマに注意」の看板や新聞などで、事前に出没情報を確認する。

②出会い頭に遭遇しないよう鈴やラジオなど音の出る物を携帯する。見通しの悪い場所では、大きな声を出すなど人の存在を早くヒグマに知らせる工夫をする。

③早朝など薄暗いときは、人もヒグマも互いの存在に気付くのが遅れ、出会い頭に遭遇する危険性が高まるので野山に入らない。

④フンや足跡、食べ跡などヒグマの痕跡を見つけたときは、すぐに引き返す。

【ヒグマと遭遇してしまったら】

①ヒグマが気付いていないようであれば、静かにその場を立ち去る。

②ヒグマとの距離が近いときは、ヒグマから視線をそらさずに動きを見ながらゆっくりと後退する。

③リュックなどヒグマに奪わ

ヒグマによる人身事故を防ぐには？

れた持ち物は、取り返さない。

④子グマを見つけたときは、必ず近くに母グマがいるので絶対に近づかない。

⑤大声で叫ぶ、走って逃げる、石を投げるなど、ヒグマを刺激する危険行為をしない。

※ヒグマに出会ってしまったら事故から逃れられる確実な方法はありません。出会わないように注意することが、事故に遭わない確実な方法です。

【ヒグマの出没を防ぐために】

近年、都市近郊や人里周辺でヒグマの出没が増えています。

ヒグマは、人里がエサを確保できる場所であることを学習すると、その後も出没を繰り返すようになります。これは、ヒグマによる事故の危険性を高めます。

ゴミを適切に管理し、エサになるような物を屋外に放置しないよう十分に注意しましょう。

農業振興課生産振興係

☎(24)0612



ヒグマ注意を呼びかける看板。キノコ狩りなどで野山に入る方は、出没情報に注意しましょう。

《50歳代男性》

【ワンポイントメモ】

【人とヒグマの共存のために】

人を恐れなくなったヒグマは、人に接近し、やがては人里周辺に出没ようになります。人が捨てたゴミなどがヒグマを呼び寄せてしまいます。私たちがマナーを守ることでヒグマとの事故を減らすことができます。

案内

「声のラン」では、おもに「市長への手紙・ポスト」や「広報広聴モニター」の声と、その答えをご紹介します。そのほか皆さんからの一般的な質問などもご紹介するので、普段から疑問に思っていることなどを、お手紙などでお寄せください。ただし、ほかの市民にも参考になる内容を採用させていただくため、個人的なことなどすべてを掲載することはできません。また、質問の内容を確認する必要上、お手紙には必ず連絡先と名前をご記入ください。【〒066-8636 / 千歳市東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課 宛】